

Q3 杉原千畝氏観光の町として「きれいな街」に整備してほしい

花のある美しい街のための考えは

問 今後も杉原千畝氏の関係で観光客は増加してくると思う。来町された皆さんによい印象を持っていただくためにも、町の公共施設、関係自治会等に花の苗を配布し、管理してもらい、花のある美しい街に、皆さんにも協力してもらってはどうか。また、可児市のように花壇コンクール等を開催し、町民にも「花の街」に協力していただいたらどうか。考えを伺う。

答 (永田地域振興課長)

現在は各地区での夢おこし事業として、花壇整備等の環境保全活動が実施されています。各小中学校では、学校環境美化と豊かな情操教育や植栽による地域の快適な環境づくりに役立つことを目的としたフラワール・ブラボー・コンクール等に参加して、多くの賞を受賞しています。

そのほかにも公共の建物や道路等では、多くのボランティアの方々に自主的な環境美化活動を実施していただいています。

また、八百津の商店街では商工会婦人部の方が花壇や道路脇を植栽し、街中の魅力ある景観をつくっておられます。

このように、街の景観をよく

し住みよい地域や豊かさの感じられる地域にするように住民が主体的に参画し、住民と行政の協働によるまちづくりを進めていきたいと思っています。

加藤良治 議員

Q1 「世界の記憶」不登録3年間の総括について

登録についての活動報告と今後の方針は

問 今回の結果を踏まえ、自己分析による検証・反省・改善がきちんとした上で、次の段階に臨めると考えるが、八百津町がこの3年間「記憶遺産」に向けて取り組んだ事業、それについて年度別の活動報告を求め、資金使途や額についても伺

う。そして、八百津町外に専門のチーム、推進協議会というものも当初設置され、取り組みで来られたと聞いています。町や県、国などとの連携はどうであったか。



人道の丘モニュメント (人道の丘公園)

答 (山内タウンプロモーション室長)

議員が理解されておられますように、ユネスコから登録されなかつた理由については何も公表されていません。自己分析、自己検証について、3年間の取り組みの総括について、県・国との連携については、黒岩議員のご質問で回答させていただきましたので、答弁は割愛させていただきます。

世界の記憶登録申請に関して取り組んだ主な事業の報告及び事業費についてお答えさせていただきます。

平成27年2月、ユネスコ世界の記憶へ登録することを旨とし、文部科学省へ訪問。

平成27年6月、「杉原リスト」ユネスコ世界の記憶国内公募申請書を日本ユネスコ国内委員会へ提出。

平成27年7月、杉原ヴィザ収集のため、職員2名が米国へ出張し、旅費として132万8千円。

平成27年9月、日本ユネスコ国内委員会国内候補の2件に選定され、16件の応募がありました。名古屋駅構内で世界の記憶ポスターを掲示、掲示料として21万6千円。

平成27年10月、「杉原リスト」ユネスコ記憶遺産登録推進協議会を設立。杉原ヴィザ収集のため、町長外1名が欧州を訪問し、旅費として375万3千円。

平成27年11月、杉原千畝シンポジウム&映画試写会を開催し、委託料として131万8千円。

平成28年2月、氷川丸で杉原千畝シンポジウムを開催。

平成28年3月、高崎市、神戸市で杉原千畝シンポジウムを開催し、委託料として氷川丸と合わせて650万円。

平成28年5月、杉原ヴィザ収集のため、町長外4名が米国へ出張し、出張旅費として339万1千円。日本ユネスコ国内委員会を通じて、ユネスコへ杉原リスト申請書を提出。

平成28年9月、杉原サバイバル、ユダヤコミュニティ訪問、「Japan Society Now Japan」参加のため、町長外1名が米国・欧州へ訪問し、旅費として151万円。

平成29年2月、広島平和記念資料館で杉原千畝シンポジウムを開催し、委託料として231万6千円。

平成29年3月、命のヴィザ保

存業務、委託料として241万2千円。デジタルアーカイブ構築業務、委託料として442万9千円。

平成29年7月、杉原ヴィザ借用返却のため、町長外1名が米国へ出張し、旅費として89万5千円。

平成29年9月、リトアニア杉原ウィークへ参加のため、町長外1名がリトアニアへ訪問し、旅費として49万9千円。

平成29年10月、ユネスコ世界の記憶登録が見送られる。以上のような事業報告とさせていただきます。

また、今後の取り組み及び目指す方針についてということですが、このことについても山田議員、長谷川議員のご質問で回答しておりますので、答弁は割愛させていただきます。

初心に戻る考えは

問 八百津町が杉原氏の顕彰を始めた初心、これは平成元年前後になるが、調査した中で当時の町長、荒井正義氏の初心にも触れる機会があった。「実

身ではあります。八百津町の出身で7月31日に亡くなられたのであります。八百津町と致しましては、千畝氏のふるさととして誇りを持つとともに、人類愛に根ざしたこの尊い行為を後世に伝える責務があります。つきま